

第10回 フクシマの 未来を考える

大学生のうちに知っておくべきこと



基調講演

福島県企画調整部長

そうとめ ありよし

五月女 有良氏

「ふくしまの今と未来」

国際環境経済学科10周年記念事業



2011年の3.11東日本大震災の影響を強く受け、2013年に持続可能な社会を創造する人材を育成することを目的に、国際環境経済学科が開設されました。2014年、同学科が環境共生研究所と共に本学創立50周年記念事業として「フクシマの未来を考える」の第1回を開催し、今年、第10回の節目を迎えます。

この講演・討論会は、福島県を課題先進地として捉えて、福島県の抱える問題を通して、日本社会、世界を俯瞰して課題解決について考えようというイベントです。今回は、福島県企画調整部長の五月女有良氏に基調講演をいただき、それを受け福島県大学生事業ならびに復興知事事業に参加する学生と「フクシマの未来と獨協大学の役割を考える」をテーマに討論したいと思います。

2024年11月13日 水 13時30分～15時10分

会場 天野貞祐記念館大講堂

事前申込不要・どなたでも参加できます

[趣旨説明・開会の挨拶] 経済学部国際環境経済学科教授 米山 昌幸

[学長挨拶] 獨協大学学長 前沢 浩子

[基調講演] 「ふくしまの今と未来」福島県企画調整部長 五月女 有良

[パネルディスカッション] 「フクシマの未来と獨協大学の役割を考える」

[コーディネーター] 経済学部国際環境経済学科教授 米山 昌幸

[パネリスト] 福島県企画調整部長 五月女 有良、田村市船引町瀬川地区 原田 奈穂(環3)、南会津町耻風 石田 新子(宮3)、喜多方市高郷町本村行政区 丹野 悠太(環4)、小野町谷津作行政区 坂口 誠(環4)、昭和村松山集落 徳田 夏実(環3)、田村市船引町長外路地区 小池 美月(済3)、石川町中谷地区 斎藤 史空(英4)、復興知事事業田村市 日野原 楓(環4)

[閉会挨拶] 環境共生研究所所長 浜本 光紹



Zoomによる参加ご希望の方は
こちらからお問い合わせください

